

# 四川大学

2006年攻读硕士学位研究生入学考试试题

10

考试科目： 综合日语  
科目代码： 419#  
适用专业： 日语语言文学

(试题共 11 页)

(答案必须写在答题纸上, 写在试题上不给分)

完成下列问题 (语言、翻译、文学专业考生必作)

- 1 片仮名の訳を参考に、次の傍線部の助動詞の意味を下から選び、記号で答えよ。
- (1) 舍人が、寝たる足を狐にくはる。  
ア 過去
- (2) 女どもを番にをりて守らず。  
イ 推量
- (3) 今は見どころなし、などは言ふめる。  
ウ 受身
- (4) たたはしきやうにて、馬のはなむけしたる。  
エ 反実仮想
- (5) その人、ほどなく失せにけりと聞きはべりし。  
オ 打消
- (6) この海にもおとらざるべし。  
カ 過去の推量
- (7) かけこもらましかば、口惜しからまし。  
キ 使役
- (8) 徳大寺にもいかなる故か侍りけん。  
ク 婉曲
- (9) 知らぬ道のうらやましく覚えば……  
ケ 現在の推量
- (10) 夜半にや君がひとりこゆらむ。  
コ 完了
- 2 次の漢文を訓読する際の正しい読み順を( )の中から選び、記号で答えよ。
- (1) 弗能応也。(レ点) ア ③ ② ① ④ イ ④ ③ ① ②
- (2) 有好鸚鳥者。(一・二点、上・下点) ア ④ ③ ① ② ⑤ イ ⑤ ③ ① ② ④
- (3) 欲改推作敲。(レ点) ア ⑤ ② ① ④ ③ イ ③ ② ① ⑤ ④
- 3 太字に注意して、次の漢文を書き下し文に改めよ。 (2点×2)
- (1) 一寸光陰不可輕及。
- (2) 過猶不及。



問一 次の□に漢字を入れて四字熟語を完成させよ。0・5点×10

- 1 唯□独尊 ( ) 2 臨□応変 ( ) 3 晴耕雨□ ( )
- 4 因果応□ ( ) 5 一喜一□ ( ) 6 大□晚成 ( )
- 7 紆余□折 ( ) 8 意氣□昂 ( ) 9 千□一遇 ( )
- 10 榮□盛衰 ( )

問二 次の□に同一の漢字を入れて四字熟語を完成させよ。0・5点×10

- 1 □信□疑 ( ) 2 右□左□ ( ) 3 □体□命 ( )
- 4 □材□所 ( ) 5 □念□想 ( ) 6 □飲□食 ( )
- 7 以□伝□ ( ) 8 □頭□尾 ( ) 9 □立□步 ( )
- 10 □画□贊 ( )

問三 次の□に漢数字を入れて四字熟語を完成させよ。1点×5

- 1 八面□臂 ( ) 2 □里霧中 ( ) 3 □面楚歌 ( )
- 4 一攫□金 ( ) 5 千差□別 ( )

問四 次の□に動物の名を表す漢字を入れて四字熟語を完成させよ。

- 1 画□点睛 ( ) 2 □耳東風 ( ) 3 □視眈々 ( )
- 4 □突猛進 ( ) 5 龍頭□尾 ( )

問五 次の四字熟語群の中から漢字に誤りのあるもの一つ選んで記号で答え、正しく改めよ。1点×5

- 1 ア 奇想天外 イ 同工異曲 ウ 起死回生 エ 異句同音 オ 喜怒哀楽
- 2 ア 危機一発 イ 天衣無縫 ウ 疑心暗鬼 エ 意気投合 オ 拳脚得

3 ア 自業自得 イ 悠々自適 ウ 不言実行 エ 優柔不断 オ 厚顔無知

4 ア 無我無中 イ 单刀直入 ウ 泰然自若 エ 有名無実 オ 七転八倒

5 ア 意味深長 イ 興味深々 ウ 付和雷同 エ 言語道断 オ 縦横無尽

問六 次の四字熟語の意味を、後から記号で選べ。0・5点×10

- 1 東奔西走 ( ) 2 暗中摸索 ( ) 3 臥薪嘗胆 ( )
- 4 温故知新 ( ) 5 傍若無人 ( ) 6 羊頭狗肉 ( )
- 7 順風満帆 ( ) 8 曖昧模糊 ( ) 9 吳越同舟 ( )
- 10 我田引水 ( )

ア 目的達成のために苦勞をすること。

イ 見せかけだけ飾ってごまかすこと。

ウ 手がかりのないことを探し求めること。

エ 敵同士が一つ所に居合わせること。

オ 他人を無視して勝手に振る舞うこと。

カ 自分の都合のいいようにはからうこと。

キ あちらこちらに走りまわること。

ク はつきりせず、あやふやなこと。

ケ 順調に事が進むこと。

コ 古いことを研究し、新しい知識を得ること。

一、次の問いの答えを A, B, C の中から選んで、下の枠に入れなさい。

(1×10=10)

- 1、『魏志』「倭人伝」によると、30ほどの小国をまとめたのは誰か。  
A 聖徳太子                      B 卑弥呼                      C 神武天皇
- 2、初めて、日本に来たヨーロッパ人はどの国の人か。  
A ポルトガル人                  B オランダ人                  C アメリカ人
- 3、第一回遣唐使として派遣されたのは誰か。  
A 小野妹子                      B 空海                          C 犬上御田歟
- 4、鎌倉幕府を開いたのは誰か。  
A 源頼朝                          B 織田信長                      C 徳川家康
- 5、室町時代、琉球経由で東南アジアの産物を中国や韓国へ輸出する貿易を何と言うか。  
A 朝貢貿易                      B 勘合貿易                      C 中継貿易
- 6、鎌倉時代に現れた人間のありのままの姿を写そうとした肖像画を何と言うか。  
A 浮世絵                          B 似絵                          C 絵巻物
- 7、1885年、太政官制を内閣制に変え、最初の内閣総理大臣は誰か。  
A 坂垣退助                      B 西郷隆盛                      C 伊藤博文
- 8、1853年、アメリカの軍艦を使って幕府に開国を要求をしたのは誰か。  
A ペリー                          B フランシスコ・ザビエト C モース
- 9、日本は年号を明治としたのは何年のことか。  
A 1848年                          B 1886年                          C 1868年
- 10、1978年、中国と中日平和友好条約を結んだ内閣は何か。  
A 田中角栄内閣                  B 福田赳夫内閣                  C 中曽根康弘内閣

二、次の語句を時代順に記号で書き入れなさい。(1×15=15)

- A 鎌倉時代 B 弥生時代 C 奈良時代 D 明治時代 E 古墳時代  
F 室町時代 G 昭和時代 H 縄文時代 I 江戸時代 J 平成時代  
K 平安時代 L 飛鳥時代 M 大正時代 N 先土器時代 O 安土桃山時代

三、次の各語群の左と右と合った項目を線で引きなさい。(1×20=20)

平安京	・	・	飛鳥時代	新魏和王	・	・	聖徳太子
銀閣寺	・	・	奈良時代	大化の改新	・	・	白河天皇
法隆寺	・	・	平安時代	憲法十七条	・	・	卑弥呼
日光東照宮	・	・	室町時代	自由民権運動	・	・	中大兄皇子
唐招提寺	・	・	江戸時代	院政	・	・	坂原退助

歌舞伎	・	・	松尾芭蕉	懐風藻	・	・	歴史物語
浮世絵	・	・	千利休	大鏡	・	・	歴史書
能	・	・	阿国	日本書紀	・	・	和歌集
茶道	・	・	菱川師宣	徒然草	・	・	漢詩文集
俳諧	・	・	世阿弥	万葉集	・	・	随筆

四、次の言葉を20～30字で説明しなさい。(1×5=5)

- 1、冠位十二階                      2、蘭学                          3、国風文化
- 4、狂言                              5、明治維新

(語訳専攻生必作) 一

次の文章は、漱石『こころ』の「先生と私」の中の一節である。「先生」は、友人と会食するために家を空けることになった。その頃近所に盗難事件が三、四日続いたので、「先生」の不在は、「奥さん」を気味わるくさせるので、その用心棒という意味で、「私」が留守番を頼まれたのである。やがて先生が帰って来た。

先生は笑ひながら「どうも御苦労さま、泥棒は来ませんでしたか」と私に聞いた。それから「来ないで張合が抜けやしませんか」と云った。

帰る時、奥さんは「どうも御気の毒さま」と会釈した。其調子は礼がしい処を暇を潰させて気の毒だといふよりも、折角来たのに泥棒が還入らなくて気の毒だといふ一[ ]のやりに聞こえた。

右の会話中の「奥さん」の「どうも御気の毒さま」という言葉は、暇を潰させたことにも、また、泥棒が来なくて手持ぶさたでお気の毒であるということにも、両様の意味に解せられるところで、この表面に現れたところだけからは、「奥さん」の2 [ ]を抱えることは困難である。しかし、「私」は既に留守番をしながら、「奥さん」と次のようなる [ ]を云っている。

「でも退屈でせう」

「いいえ。泥棒が来るかと思つて緊張しているから退屈でもありません」

奥さんは手に紅茶々碗を持った儘、笑ひながら其所に立つてゐた。

「此所は閑つこたから番をするには好くありませんね」

と私が云った。

「ぢや失礼ですがもつと其中へ出て来て頂戴。御退屈だらうと思つて、御茶を入れて来たんですが、茶の間で宜しければ彼方で上げますから」

更に先生が帰つてきて、「どうも御苦労さま、泥棒は来ませんでしたか。来ないで張合が抜けやしませんか」と4 [ ]を云っている。従つて、「奥さん」の5 [ ]が、仮にまともな挨拶を意圖したとしても、受取る「私」には、これを6 [ ]と解する充分な条件が揃つていたと見るこゝろができるのである。

以上は、ある言語学者の論文の一部である。これを読んで以下の問に答えよ。2点×6

問(1) 文意にしたがつて [ ] の中に、「冗談」もしくは「真意」のどちらかを入れよ。

問(2) 右の文章は、言語による伝達に関するつぎのA B二つの見解の、どちらかの例としてあげられたものである。どちらの例として適切であるか。4点×2

A 言語は一定の音声に一定の意味が結合したもので、思想(および感情)を他人に伝えるために用いられるものである。いま、われわれが音声を実際に用いる場合について考えてみるに、話し手が、あることを言語によつて伝えようとする時には、その事物を表す一定の音声を口に発する。聞き手は、その音声を聞いて、その音声の表す事物を心の中に浮かべて、話し手が何を伝えようとするかを知るのである。しかし、話し手の伝えようとする所のものを、聞き手が、正しく誤らず理解し得るためには、話し手も聞き手も同様に、同じ音に対して同じ意味を結合させなければならないのである。それでは、どうして話し手も同じ音に同じ意味を結合させることができるかというに、話し手も聞き手も、周囲の人々から、これまで幾度もその音を聞き、かつ、それにはいつも一定の意味が伴つていたことを経験して、その音の記憶と、その意味、すなわちその音のさし示している事物の記憶とが、あい併つて心の中に残つてゐるからである。

B 言語は個物を個物としてそのまま表現するものではなく、一旦これを概念化し、その概念を音声あるいは文字に移行して、聞き手の感覚を刺激するものである。さらに、これらの刺激からある思想を再生するのは、まったく聞き手の連合作用に依存するものであつて、話し手の思想が、聞き手に伝達される保証というものは、言語それ自体には存しない。

二

傍線部の語の品詞を後から選べ。1点×3

1 私はある雑誌から、小説「高村光太郎」を書くように頼まれた。

イ 動詞 (五段活用)      ロ 動詞 (上一段活用)

ハ 接続詞                      ニ 連体詞

2 「間もなく」といった表現も、その「間」とは何分ぐらいか、と聞かれれば日本人自身、はっきりと指定することはできない。

イ 名詞                      ロ 形容詞                      ハ 副詞

ニ 連体詞                      ホ 形容動詞

3 やれ漱石の文明論は古くなつたのではないのと騒いでみても致し方ない。

イ 副詞                      ロ 接続詞                      ハ 連体詞                      ニ 感動詞

三

傍線部の語の品詞を後から選べ。1点×7

4 もともとものと深い意味と経験があつたものと私も思う。

5 氏はドイツ語がよくでき、外国へも二度も三度も行ったことのある人である。

6 大きく言えば世界観に関することである。

7 科学的真理及び真理の応用と、倫理的な概念である幸福また善との対立が、あらわれてきたといつてよい。

8 いわゆる純粋詩

9 産業化のとうとうたる流れは人間の演技する精神を徹底的に否定した。

10 獲物は二〇センチ足らずの小さなアイナメだった。

四 次の□のなかに入れる漢字を、下の(ア)～(イ)から選

んで記号で答えなさい。 1点×15

- |                       |       |       |       |       |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
| (1) 異□(いぎ)を申し立てる。     | (ア) 義 | (イ) 議 | (ウ) 儀 | (エ) 疑 |
| (2) 病人を□抱(かいほう)する。    | (ア) 快 | (イ) 会 | (ウ) 介 | (エ) 回 |
| (3) 時□(じせい)に遅れる。      | (ア) 勢 | (イ) 制 | (ウ) 製 | (エ) 性 |
| (4) □先(きせん)を制する。      | (ア) 貴 | (イ) 幾 | (ウ) 規 | (エ) 機 |
| (5) 貨□(かへい)価値が下がる。    | (ア) 弊 | (イ) 平 | (ウ) 幣 | (エ) 柄 |
| (6) 注意力が散□(さんまん)である。  | (ア) 満 | (イ) 漫 | (ウ) 慢 | (エ) 万 |
| (7) 難民を救□(きゅうさい)する。   | (ア) 西 | (イ) 齊 | (ウ) 齋 | (エ) 濟 |
| (8) 制服を□号(たいご)する。     | (ア) 滯 | (イ) 貸 | (ウ) 体 | (エ) 待 |
| (9) □細(しょうさい)に報告する。   | (ア) 償 | (イ) 承 | (ウ) 詳 | (エ) 抄 |
| (10) 飛行機を操□(そうじゅう)する。 | (ア) 縦 | (イ) 従 | (ウ) 充 | (エ) 柔 |
| (11) 電力を□減(せつげん)する。   | (ア) 節 | (イ) 接 | (ウ) 折 | (エ) 切 |
| (12) 資料を□付(てんぷ)する。    | (ア) 点 | (イ) 添 | (ウ) 展 | (エ) 典 |
| (13) 局面を打□(だかい)する。    | (ア) 解 | (イ) 開 | (ウ) 改 | (エ) 皆 |
| (14) もう一度点□(てんけん)する。  | (ア) 険 | (イ) 検 | (ウ) 俛 | (エ) 剣 |
| (15) 売り場に殺□(ざつとり)する。  | (ア) 倒 | (イ) 投 | (ウ) 到 | (エ) 盜 |

五 次の□のなかに入れる漢字を、(ア)～(イ)から選んで記

号で答えなさい。 1点×5

- |              |              |
|--------------|--------------|
| (1) □住宅地。    | (2) □を結ぶ。    |
| (3) 神仏を□する。  | (4) 産業の□を図る。 |
| (5) 説書が□に及ぶ。 |              |
- (ア) 信仰 (イ) 深更 (ウ) 新興 (エ) 振興 (オ) 親交
- (1) Ⅱ(        ) (2) Ⅱ(        ) (3) Ⅱ(        ) (4) Ⅱ(        )
- (5) Ⅱ(        )

問一 次の文中の空欄にあてはまる語を後から選び、記号で答えよ。 1点×5

上代の文芸世界では、大和朝廷の国家的統一が完成した五世紀ごろを境として [1] が [2] へ転じていく。大陸から文字が入ってくる。と同時に文化も流れ込み、漢籍を通して儒教思想や仏教も伝来した。聖徳太子の時代を中心に栄えた [3] は、大陸文化の影響が強い。六四五年の大化の改新を経て、これまでの氏族社会に代わって律令社会となり、文化的には、 [4] から奈良時代の [5] へと展開していく。

- ア 白鳳文化    イ 飛鳥文化    ウ 天平文化
- エ 口承の文学    オ 文字文学・記載文学

1 ( )    2 ( )    3 ( )    4 ( )    5 ( )

問二 次の語の読みをひらがなで記せ。 1点×4

1 祝詞 ( )    2 相聞 ( )

3 宣命 ( )    4 言霊・言魂 ( )

問三 次の文中の空欄にあてはまる語を後から選び、記号で答えよ。 1点×5

『古事記』は [1] 年、 [2] が [3] の誦習していた伝承を基に [4] の勅命によって編纂したものである。上・中・下の三巻で構成されている。文体は [5] 漢文体で、和歌は万葉仮名で表記されている。わが国現存最古の典籍であり、国民的古典といえる。

- ア 和銅五(七二二)    イ 養老四(七二〇)    ウ 天武天皇
- エ 元明天皇    オ 舎人親王    カ 太安万侶    キ 稗田阿礼
- ク 高橋氏文    ケ 正式な    コ 変体の

問四 次の歌の歌体名を漢字で記せ。 1点×2

- 1 はしけやしわぎへの方よ雲居立ち来も ( ) 歌
- 2 みなどの草の末葉を誰か手折りし吾が背子が袖ふる見むと吾ぞ手折りし ( ) 歌

問五 『万葉集』について、次の空欄に適語を入れよ。 1点×4

- 1 成立は八世紀の中頃であり、歌数は約 ( ) 首である。
- 2 部立(歌の分類)は、相聞・( )・雑歌の三つから成る。
- 3 五七調のリズムが中心で、その力強さから ( ) ぶりと言われている。
- 4 あらゆる階層の人の歌が収められているが、辺境警備にあたった兵士にまつわる歌を総称して ( ) 歌という。

1 ( )    2 ( )    3 ( )    4 ( )

問六 次の歌人の中から『万葉集』の①第一期と②第三期に属する者をそれぞれ二人ずつ選び、記号で答えよ。 1・5点×2

- ア 山部赤人    イ 大伴家持    ウ 高市黒人
- エ 額田王    オ 有間皇子    カ 柿本人麻呂
- キ 山上憶良    ク 狭野茅上娘子

① ( )    ② ( )

問七 次の説明にあてはまる歌人を問六の選択肢の中から選び、記号で答えよ。 1点×2

- 1 子供への深い愛情や社会矛盾への抗議を詠んだいわゆる人生派の歌人。 ( )
- 2 江戸時代の国学者契沖により『万葉集』の有力な編纂者とみなされている人物。 ( )

問一 次の文中の空欄にあてはまる語を後から選び、記号で答えよ。

1点×5

大正中期以降の作家たちは、それまで勢力をもっていた自然主義・

1 耽美主義のいずれとも異なる文学的傾向をとろうとした。それらを総称して新現実主義と呼ぶ。この新現実主義には三つの文学グループが含まれる。第一は、『羅生門』の 2 『恩讐の彼方に』の菊池寛らの『3』系で、理知による独自の人間解釈をめざした。第二は、『4』によつた広津和郎・葛西善蔵らで、心理的リアリズムをめざそうとした。第三は、『性目覚める頃』の 5 や佐藤春夫らで、浪漫主義の系譜の上に立つ作品を書いた。

- ア 奇蹟 イ 明星 ウ 新思潮 エ 白樺派
- オ 芥川龍之介 カ 谷崎潤一郎 キ 室生犀星 ク 国木田独歩

問二 次の文章を読んで、後の問いに答えよ 1点×6

大正末期から昭和の初めにかけて、第一次世界大戦後の経済恐慌、関東大震災などの社会不安を背景に、プロレタリア文学が生まれた。1 次のa～eのプロレタリア作家の作品を後から選び、記号で答えよ。

- a 葉山嘉樹 b 徳永直 c 黒島伝次 d 宮本百合子
  - e 小林多喜二
  - ア 『仲子』 イ 『太陽のない街』 ウ 『蟹工船』
  - エ 『セメント樽の中の手紙』 オ 『渦巻ける鳥の群』
- a ( ) b ( ) c ( ) d ( ) e ( )

2 弾圧・投獄・その他の理由で、共産主義思想を放棄したり、党活動から離れたりするを何というか。漢字二字で答えよ。

問三 プロレタリア文学が盛んになったのと同じ時期に、これとは別の

方向をとつた文学の流れを総称してモダニズム文学という。モダニズムの主なもの、A 新感覺派、B 新心理主義、C 新興芸術派(新芸術派)である。次にあげる1～3の作家はそれぞれどれに属するか。また、彼らの作品を後から選び、記号で答えよ。0・5点×6

- 1 堀辰雄 2 井伏鱒二 3 川端康成
- ア 『白輪』 イ 『冬の宿』 ウ 『山椒魚』
- エ 『伊豆の踊子』 オ 『檸檬』 カ 『聖家族』

問四 次の作家に関係ある事項や作品を後から選び、記号で答えよ。

1点×11

- 1 安岡章太郎 2 黒井千次 3 中野重治 4 太宰治
  - 5 谷崎潤一郎 6 志賀直哉 7 原民喜 8 坂口安吾
  - 9 大江健三郎 10 安部公房 11 大岡昇平
- ア 『壁』 イ 『白痴』 ウ 『暗夜行路』
- エ 『死者の奢り』 オ 『細雪』 カ 『浮城記』
- キ 内向の世代 ク 民主主義文学 ケ 第三の新人
- コ 新戯作派(無頼派) サ 『夏の花』
- 1 ( ) 2 ( ) 3 ( ) 4 ( )
- 5 ( ) 6 ( ) 7 ( ) 8 ( )
- 9 ( ) 10 ( ) 11 ( )

(翻译专业考生必作)

問題一 次のA、Bの文章を中国語に訳しなさい。(30点)

文章A

吾輩の主人は滅多に吾輩と顔を合せる事がない。職業は教師だそうだ。学校から帰ると終日書齋に這入りたぎりほとんど出て来る事がない。家のものは大変な勉強家だと思っている。当人も勉強家であるかのごとく見せている。しかし実際はうちのものがいうような勤勉家ではない。吾輩は時々忍び足に彼の書齋を覗いて見るが、彼はよく昼寝をしている事がある。時々読みかけてある本の上に涎をたらしている。彼は胃弱で皮膚の色が淡黄色を帯びて弾力のない不活発な徴候をあらわしている。その癖に大飯を食う。大飯を食った後でタカジャスターゼを飲む。飲んだ後で書物をひろげる。二三ページ読むと眠くなる。涎を本の上へ垂らす。これが彼の毎夜繰り返す日課である。吾輩は猫ながら時々考える事がある。教師というものは実に楽なものだ。人間と生れたら教師となるに限る。こんなに寝ていて勤まるものなら猫にでも出来ぬ事はないと。それでも主人に云わせると教師ほどつらいものはないそうで彼は友達が来る度に何とかかんとか不平を鳴らしている。

吾輩がこの家へ住み込んだ当時は、主人以外のものにははなはだ不人望であった。どこへ行っても跳ね付けられて相手にしてくれ手がなかった。いかに珍重されなかったかは、今日に至るまで名前さえつけてくれないのでも分る。吾輩は仕方がないから、出来得る限り吾輩を入れてくれた主人の傍にいる事をつとめた。朝主人が新聞を読むときは必ず彼の膝の上に乗る。彼が昼寝をするときは必ずその背中に乗る。これはあながち主人が好きという訳ではないが別に構い手がなかったからやむを得るのである。その後いろいろ経験の上、朝は飯櫃の上、夜は炬燵の上、天気の良い日は縁側へ寝る事とした。しかし一番心持の好いのは夜に入ってここのうちの小供の寝床へもぐり込んでいっしょにねる事である。この小供というのは五つと三つで夜になると二人が一つ床へ入って一間へ寝る。吾輩はいつでも彼等の中間に己れを容るべき余地を見出してどうにか、こうにか割り込むのであるが、運悪く小供の一人が眼を醒ますが最後大変な事になる。小供は——ことに小さい方が質がわるい——猫が来た猫が来たといって夜中でも何でも大きな声で泣き出すのである。すると例の神経胃弱性の主人は必ず眼をさまして次の部屋から飛び出してくる。現にせんだってなどは物指で尻ぺたをひどく叩かれた。

夏目漱石「吾輩は猫である」

文章B

(前略) されば、外国文を翻訳する場合に、意味ばかりを考えて、これに重きを置くと原文をこわす虞(おそれ)がある。須(すべか)らく原文の音調を呑み込んで、それを移すようにせねばならぬと、こう自分は信じたので、コン

マ、ピリオドの一つをも濫(みだ)りに棄てず、原文にコンマが三つ、ピリオドが一つあれば、訳文にも亦ピリオドが一つ、コンマが三つという風にして、原文の調子を移そうとした。…… 処で、出来上った結果はどうか、自分の訳文を取って見ると、いや実に読みづらい……だから、誉められても標準に無交渉なので嬉しくもなければ、譏(そし)られても見当違いだから、何の啓発される所もなかった。いわば、自分で独り角力を取っていたので、實際毀誉褒貶以外に超然として、唯だ或る点に目を着けて苦勞をしていたのである。というのは、文学に対する尊敬の念が強かったので、例えばツルゲーネフが其の作をする時の心持は、非常に神聖なものであるから、これを翻訳するにも同様に神聖でなければならぬ、就ては、一字一句と雖(いえども)、大切にせなければならぬように信じたのである。

併し乍ら、元來文章の形は自ら其の人の詩想に依って異なるので、ツルゲーネフにはツルゲーネフの文体があり、トルストイにはトルストイの文体がある。其の他凡そ一家をなせる者には各独特の文体がある。……文体は其の人の詩想と密着の關係を有し、文調は各自に異っている。従ってこれを翻訳するに方っても、或る一種の文体を以て何人にでも当て嵌める訳には行かぬ。ツルゲーネフはツルゲーネフ、ゴルキーはゴルキーと、各別にその詩想を会得して、厳しく云えば、行住座臥、心身を原作者の儘にして、忠実に其の詩想を移す位でなければならぬ。是れ実に翻訳における根本的必要条件である。

## 二葉亭四迷「余が翻訳の標準」

問題二 次の文章を日本語に訳しなさい。(15点)

摆在我们面前的，是一场极为痛苦的严峻的考验。在我们面前，有许许多多漫长的斗争和困难的岁月。

你们问：我们的政策是什么？

我要说，我们的政策就是用我们全部的能力，用上帝给予我们的全部力量，在海上，陆地和空中进行战争；同一个在人类黑暗悲惨的罪恶史上所未有过的穷凶极恶的暴政进行战争。这就是我们的政策。

你们问：我们的目标是什么？

我可以用一个词来回答：胜利——不惜一切代价，去赢得胜利；无论多么可怕，也要赢得胜利，无论道路多么遥远和艰难，也要赢得胜利。因为没有胜利就不能生存。

当我挑起这个担子的时候，我是心情愉快，满怀希望的。我深信人们不会听任我们的事业遭受失败。此时此刻，我觉得我有权要求大家的支持，我要说：“来吧，让我们同心协力，一道前进！”

邱吉尔 演说《热血、辛劳、眼泪和汗水》

問題三 次の言葉に一文字を入れて熟語を完成しなさい。(5点)

- ① ( ) 开三面
- ② 童 ( ) 无欺
- ③ ( ) 高和寡
- ④ ( ) 心蕙性
- ⑤ ( ) 毒生灵
- ⑥ 越俎代 ( )
- ⑦ 吐故 ( ) 新
- ⑧ 狡兔 ( ) 窟
- ⑨ ( ) 辙之鱼
- ⑩ 负 ( ) 请罪